

令和2年度

事業報告書

公益財団法人群馬県産業支援機構

目 次

| | |
|---------------------------------|----|
| I 概要 | 1 |
| II 事業の実施状況 | |
| 1. 経営支援 | 3 |
| (1) 経営資源強化対策事業 | |
| (2) よろず支援拠点事業 | |
| (3) 事業引継ぎ支援センター事業 | |
| (4) プッシュ型事業承継支援強化事業 | |
| (5) 創業支援事業 | |
| (6) 地域資源活用等促進事業 | |
| (7) ハッ場ダム地域企業支援事業 | |
| (8) 中小企業再生支援協議会事業 | |
| (9) プロフェッショナル人材戦略拠点事業 | |
| (10) コンベンション主催者と県内事業者のマッチング支援事業 | |
| (11) 中小企業外国出願支援事業 | |
| (12) 経営人材育成事業 | |
| (13) 情報整備発信事業 | |
| (14) ネットワーク交流促進支援事業 | |
| (15) 上海事務所運営事業 | |
| 2. 取引開拓支援 | 9 |
| (1) 下請取引あっせん事業 | |
| (2) 販路開拓支援事業 | |
| 3. ものづくり技術・産学連携支援 | 12 |
| (1) ものづくり人材育成事業 | |
| (2) 次世代産業参入支援事業 | |
| (3) 国・県の競争的資金獲得等の支援 | |
| 4. 設備導入資金債権管理 | 17 |
| 5. 理事会・評議員会の開催状況 | 17 |

令和2年度事業報告

I 概要

令和2年度の我が国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大により、4月から5月にかけて緊急事態宣言が発出され、個人消費の減少や企業活動の停滞など経済の急激な減速を招いたものの、7月以降は持ち直しの動きがみられました。しかし、年末になると第三波の感染拡大があり、1月から3月にかけて再度、緊急事態宣言が発出されるなど、企業収益の減収や個人消費の不振から経済は依然として厳しい状況が続いています。

県内経済においても、4月以降、製造業における操業停止や不要不急の外出自粛などにより厳しい状態が続いていましたが、国県の交付金や助成金などの経済対策や金融支援等の活用により、秋以降は基調として持ち直しの動きが続いています。

しかしながら、観光、宿泊、飲食等において影響が顕著なほか、製造業では半導体供給課題等の影響もあり、感染収束の先行きが不透明な中で、地域の経済と雇用を支える中小企業、小規模事業者の疲弊が懸念される状況にあります。

こうした中、当機構では、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う中小企業等の経営上の相談に対応するため、令和2年2月に「中小企業等特別相談窓口」を設置するとともに、資金繰りに悩む中小企業等の支援のため、4月から「特例リスケジュール計画策定支援」を実施しました。

また、後継者不在の中小企業等の円滑な事業承継、事業引継ぎを支援するとともに、地域課題の解決を目的とする起業者への助成や創業相談、伴走支援を行ったほか、IoT導入や次世代自動車人材育成などに取り組む中小企業をサポートしました。

各種事業の実施に当たっては、研修や商談会など集合、対面で行うものは、中止、延期や開催方法の変更が余儀なくされましたが、これを機にWebの積極的な活用を行い、経営相談や企業訪問、会議・セミナー、商談会、工場見学会等においてオンラインでの実施に取り組みました。

当機構では、国県の各種支援施策を効果的に活用しつつ、県域の中核的支援機関として、各種支援機関と連携を図りながら、中小企業、小規模事業者の支援に努めました。

(重点事項)

1. 中小企業等への経営支援、地方創生起業支援事業

中小企業・小規模事業者の事業活動を総合的に支援するため、経営と技術のワンストップサービスの拠点である「企業サポートぐんま」としての機能を活かし、県をはじめ国、各種支援機関、経済団体、金融機関、大学など中小企業支援機関との連携を図り、中小企業等の経営課題の解決に努めました。

特に、当機構内に設置するよろず支援拠点、経営総合相談窓口、再生支援協議会、経営改善支援センター、プロフェッショナル人材戦略拠点等の充実を図り、中小企業・小規模事業者の様々な経営課題に対して各分野の専門家等が継続的にきめ細かい支援を行いました。

また、国の資金を活用した補助制度により、地域課題解決を目的とする起業家に対し起業に必要な経費の一部を補助するとともに、専門家による事業計画作成、経営課題解決、販路開拓等の支援により起業家に寄り添った伴走支援を行いました。

2. 事業承継事業

後継者不在などで事業の存続に悩みを抱える中小企業・小規模事業者の相談に対応するため、当機構内に設置する事業承継ネットワーク事務局や事業引継ぎ支援センター等に、引き続き中小企業の事業承継、M&Aの実務に精通した専門家を配置し、様々な事業引継ぎに関する課題解決をより具体的に支援しました。

また、県とともに策定した事業承継支援方針に沿って、事業承継計画策定のための専門家派遣を行うとともに、事業承継において経営者保証が障害となる中小企業に対する支援を行いました。

3. 持続的な経営力向上のための支援

国が進める経営力及び生産性向上のための各種支援施策を積極的に活用する企業や、IoT・AI導入、航空宇宙産業参入、次世代自動車など革新的なイノベーションに挑戦する企業に対し、コーディネーターや登録専門家による技術支援等を行うとともに、受発注企業の紹介・あっせん、商談会や展示会等の販路開拓支援、補助金獲得支援など取引開拓を積極的にサポートしました。

また、コンベンション施設「Gメッセ群馬」の開所を契機に、県内事業者のビジネスチャンスの拡大や主催者とのマッチングを支援するとともに、開催支援事業者のネットワークを形成し、県内コンベンション関連産業をサポートしました。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止とした事業もありましたが、オンライン活用など開催方法を変えて取り組みました。

II 事業の実施状況

1. 経営支援

| | |
|-----|-------------------------|
| 決算額 | 452,372千円（前年度414,432千円） |
|-----|-------------------------|

(1) 経営資源強化対策事業

経営支援における県域の中核的支援機関として、中小企業・小規模事業者のニーズに応じた幅広い経営相談に迅速に対応しました。

① 経営総合相談窓口の運営

創業、経営戦略、販路、財務・資金、経営改善、事業承継、人材育成・労務管理、IT活用等、中小企業等のニーズに応じて、経営上の様々な課題を解決するため専門のマネージャーを配置して相談に応じ、効果的かつ効率的に支援しました。

○相談実績（相談内容延べ件数）

| 内 容 | 件数 | 構成比 | 内 容 | 件数 | 構成比 |
|---------|-----|-------|----------|-------|--------|
| 経営戦略 | 271 | 12.8% | ビジネスプラン | 304 | 14.4% |
| 創業 | 457 | 21.6% | 技術・特許 | 29 | 1.4% |
| 経営情報提供等 | 523 | 24.7% | IT(情報技術) | 52 | 2.5% |
| 販路 | 127 | 6.0% | ISO | 2 | 0.1% |
| 海外展開 | 93 | 4.4% | 法律 | 45 | 2.1% |
| 人材育成・労務 | 43 | 2.0% | 会社設立 | 30 | 1.4% |
| 経営改善 | 84 | 4.0% | 事業承継 | 11 | 0.5% |
| 財務・資金 | 45 | 2.1% | 計 | 2,116 | 100.0% |

② 専門家派遣事業

経営総合相談におけるより高度な相談内容については、当機構届出の各分野の専門家を派遣して、経営の向上に取り組む中小企業等の順調な発展・成長を促進しました。併せて「ミラサポ」を窓口とした国の専門家派遣事業も活用し、中小企業・小規模事業者の課題解決を図りました。

○派遣実績

・県費補助金分

*補助率 1/2（創業：9/10）

| 業 種 | 企 業 数 | 回 数 |
|-------|-------|-------|
| 製 造 業 | 2 社 | 1 0 回 |
| 非製造業 | 6 社 | 2 1 回 |
| 計 | 8 社 | 3 1 回 |

・国の中小企業・小規模事業者ビジネス創造等支援事業分 *補助率 10/10

| 業 種 | 企 業 数 | 回 数 |
|-------|-------|-------|
| 製 造 業 | 5 社 | 1 3 回 |
| 非製造業 | 1 0 社 | 1 9 回 |
| 計 | 1 5 社 | 3 2 回 |

(2) よろず支援拠点事業

地域の他の支援機関と連携しながら、中小企業・小規模事業者が抱える売上げ拡大や経営改善等の経営課題に対してコーディネーターが相談対応し、より専門的なアドバイスが必要な場合には専門家を活用して課題解決を図りました。また、支援機関・専門家等と連携体制を強化するとともに支援機関に支援モデル・ノウハウ等を提供し、支援機関のスキルアップを応援しました。

○体制：チーフコーディネーター 1人
 コーディネーター 18人 計19人

① 専門性の高い経営アドバイス

「売上拡大」や経営改善等の経営課題の解決に向けた支援を実施しました。

○相談対応件数： 11, 424件 1, 733社

② 課題解決のための総合調整

経営課題、相談内容に応じて、群馬県発明協会、群馬産業技術センター等の専門の支援機関と相互連携して、支援を実施しました。

○連携した相談対応件数：593件

③ 他の支援機関に対する支援ノウハウの共有

経営相談の解決に必要な提案方法やこれまでに支援した事例など、本事業を実施することを通じて蓄積された支援ノウハウの他の支援機関への共有を実施しました。

④ 支援機関等連携強化

群馬県中小企業支援地域プラットフォーム構成機関連絡会議及びエクセレントパートナー認定研修は開催を見送りました。

⑤ その他

出張相談会やセミナーなどを開催しました。

○研修・セミナー1回、出張相談会77回、勉強会・研究会66回

(3) 事業引継ぎ支援センター事業

後継者不在などで事業の存続に悩みを抱える中小企業・小規模事業者の相談に対応するため、中小企業の事業承継、M&Aの実務に精通した専門家を窓口配置し、様々な事業引継ぎに関する課題解決をより具体的に支援しました。また、小規模事業者の事業引継ぎを円滑に進めるため起業・創業者とのマッチングを行う後継者人材バンク事業を行いました。

○相談実績

| 内 容 別 | | 業 種 別 | |
|----------|------|-------|------|
| 譲渡希望(売り) | 90件 | 製造業 | 59件 |
| 譲受希望(買い) | 144件 | 小売業 | 12件 |
| その他 | 11件 | その他 | 174件 |
| 計 | 245件 | 計 | 245件 |

○成約件数 22件

○後継者バンク 売り事業所8社 起業・創業者22人 成約2件

(4) プッシュ型事業承継支援強化事業

事業承継ネットワーク構築事業で掘り起こされた事業承継の課題等の支援ニーズを抱える個別企業に対して、県とともに策定した事業承継支援方針に沿って、事業承継計画の策定のための専門家派遣や事業承継において経営者保証が障害となる中小企業に対するきめ細かな支援を行いました。また、事業承継支援リーダー養成のための研修を行いました。

○事業承継診断実施 7,480件(29年度からの累計34,835件)

○専門家派遣相談件数 103件

○利用申請 75件(内承継計画61件、個別課題14件)

○支払申請 72件(最終派遣件数)

(5) 創業支援事業

全国的に人口減少が進む中、創業は新たな雇用や県内経済の活性化を促すものであり、県内の中核的な創業支援機関として、創業前から創業後の安定期に至るまで切れ目ない伴走支援を行いました。

① 創業支援センターの運営

機構内に設置した「創業支援センター」において、マネージャーが相談対応を行うとともに、市町村、金融機関、商工会議所・商工会等の地域支援機関と連携して創業支援情報の収集、提供を行いました。

② 地方創生起業支援事業

地域の課題解決に取り組む社会的事業者として起業する者に対し、起業に必要な経費の一部を補助し、マネージャーが事業立ち上げ等に関する伴走支援を行い、効果的な起業を促進しました。

○起業支援金採択者 31者

③ 創業補助金等フォローアップ事業

平成 25 年度補正予算で事業実施した創業補助金事業者の補助事業終了の報告書類の管理を行いました。

(6) 地域資源活用等促進事業

国内外の新規取引先の開拓とインバウンド需要を取り込むため、産官学のオール群馬の体制で、地域資源活用等事業者の BtoB や BtoC を支援する商談会等を開催しました。

○ぐんま食の“逸品”オンライン商談会

| 開催日 | 会場 | 内容 | |
|-------------------------|----------------------|-------|-------|
| 令和 3 年 3 月 2 日 ～ 4 日 | G メッセ群馬 (オンライン開催) | 参加企業数 | 35 社 |
| | | 商談件数 | 146 件 |

(7) ハッ場ダム地域企業支援事業

県からの委託により、長野原町ハッ場地区の中小企業等に対して、経営総合相談窓口で相談に応じるとともに、課題解決のため必要に応じて専門家派遣を行う事業を企画しましたが実施には至りませんでした。

(8) 中小企業再生支援協議会事業

産業競争力強化法に基づく認定支援機関として、経営の継続が厳しい状況にある中小企業者の再生支援を実施しました。

① 再生計画の策定支援

中小企業者からの相談に対し、経営上の問題点や具体的課題を抽出して状況に応じた適切な助言や支援策の検討を行い、再生が見込まれる企業については、金融機関等と調整を図りながら、外部専門家（公認会計士、中小企業診断士等）による個別支援チームを編成し、再生計画策定を支援しました。

○相談実績

| 内容別 | | 業種別 | |
|-------|-------|---------|-------|
| コロナ特例 | 152 件 | 製造業 | 60 件 |
| 通常再生 | 14 件 | 卸売業・小売業 | 35 件 |
| | | その他 | 71 件 |
| 計 | 166 件 | 計 | 166 件 |

※15 年度からの相談企業累計：1,015 社、相談件数累計：2,779 件

○再生計画策定支援開始 162 件

○再生計画策定完了 145 件 *15 年度からの累計 493 件

旧スキーム 5 件、新スキーム 140 件

② 経営改善支援センターの運営

中小企業者・小規模事業者の経営改善を図るため、認定支援機関が経営改善計画の策定を支援する費用及びフォローアップ費用の一部を負担して経営改善を促進しました。

○上限額 早期200千円、通常2,000千円 補助率2/3

○相談件数 早期35件、通常124件

○計画策定支援件数 早期14件、通常33件

(9) プロフェッショナル人材戦略拠点事業

成長力の高い中堅・中小企業の新商品開発、新規販路開拓等の新たな攻めの経営実現のため、大企業等において専門的な技術や知識等を習得した優秀な外部人材を活用して課題解決を図れるよう、企業の成長戦略を具現化してゆくプロフェッショナル人材の採用や兼業・副業により中小企業を支援しました。

○相談実績

| 相談件数 | | 業種別 | |
|--------------------|----------------|-----|------|
| 相談対応件数 (うち人材取次) | 261件 (227件) | 製造業 | 166件 |
| | | 建設業 | 25件 |
| | | その他 | 70件 |
| | | 計 | 261件 |

○成約件数48件

(10) コンベンション主催者と県内事業者のマッチング支援事業

Gメッセ群馬の開所を契機にコンベンション主催者と県内事業者のマッチング支援のためのコーディネート事業としてコンベンション開催需要の獲得や主催者に開催協力可能な魅力ある県内企業を紹介するとともに、開催支援事業者同士のネットワークを形成して受け入れ体制の構築を図りました。

○主催者等への提案 41件

○県内企業等訪問 延べ344社・団体

(11) 中小企業外国出願支援事業

優れた技術力や製品について海外展開を図る中小企業者等に対し、外国への特許等の出願に必要な経費の一部を補助することにより、国際競争力の強化を支援しました。

○上限額 300～1,500千円、補助率1/2

○採択件数：特許 3件、商標 7件、意匠 0件

○補助金交付額：3,980千円

(12) 経営人材育成事業

中小企業の経営者や後継者、経営幹部の育成を目的に、組織・人材や財務諸表から導く経営戦略、事業計画策定等について学ぶ「ぐんま実践マネジメントスクール」や若手経営者等の次世代リーダーが企業成長のための事業構想を完成させる「ぐんま次世代経営塾」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

○ぐんま実践マネジメントスクール

| コース名 | 開催日 | 受講者 | 会場 |
|-------------------|-----|-----|----|
| 経営力を鍛える 実践塾6日間 | 中止 | 一名 | |

○ぐんま次世代経営塾

| コース名 | 開催日 | 受講者 | 会場 |
|------------------|-----|-----|----|
| ぐんま次世代経営塾 4日間 | 中止 | 一名 | |

(13) 情報整備発信事業

県内中小企業への情報発信として、メールマガジン(G-BOSS)を計31回、332件を配信(3,431先/回)して、各種支援情報、公募情報、イベント情報など中小企業の経営に役立つ情報を提供しました。

また、機構の各種事業を活用した企業を支援事例集としてとりまとめ、関係機関に配布しました。

(14) ネットワーク交流促進支援事業

幅広い業種を対象として企業間の新たな連携と交流を図るぐんま産業創造倶楽部と当機構が実施する各種事業との連携・協力によって、県内企業の活性化を推進する事業を計画しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

(15) 上海事務所運営事業

県の国際戦略の推進に向けた海外拠点として、中国・上海市に開設した上海事務所を運営しました。主な業務内容は、①県内企業の中国ビジネス展開の支援、②県産品の中国販路拡大支援、③中国から本県への観光客誘致、④中国における本県情報の発信、⑤現地情報の収集・提供とし、県と連携して取り組みましたが、現地においても新型コロナウイルス感染拡大によりイベント等にも大きな影響がありました。

2. 取引開拓支援

| | |
|-----|---------------------------|
| 決算額 | 10,449 千円 (前年度 13,875 千円) |
|-----|---------------------------|

(1) 下請取引あっせん事業

県内下請中小企業の取引を拡大し受注量を確保するとともに、関係機関との連携により取引の適正化を推進しました。

① 受注・発注企業の紹介・あっせん

新型コロナウイルス感染拡大や半導体部品調達の影響などによる大幅な減産において、基幹産業である自動車産業が厳しい状況にあるなか、県内企業の安定した受注確保、事業継続に向けた新規販路開拓の支援するため、職員やものづくり販路支援コーディネーター等による発注案件の掘り起こしや県内下請企業情報の積極的な情報発信を行うとともに、県内主要企業外注・生産動向調査を実施し（1回）、効果的な紹介・あっせんに結びつけました。

○受発注企業登録状況 発注企業：1, 135社、うち新規登録：1社
 （令和2年度末現在） 受注企業：2, 866社、 ” : 16社

○相談実績

| 区 分 | 件 数 |
|------------|---------|
| 取引あっせん相談関係 | 835件 |
| 経 営 関 係 | 473件 |
| そ の 他 | 42件 |
| | 1, 350件 |

※下請取引に関する相談や付随する経営等に関する相談を集計

○あっせん実績

| 区 分 | 件数等 |
|----------|-----------|
| あっせん紹介件数 | 250件 |
| あっせん成立件数 | 25件 |
| 当初成立金額 | 43, 574千円 |

※商談会による取引あっせんを含む。

○訪問企業数

| | | 全 体 | | |
|-----------------------|------|-----|----|-----|
| | | 県内 | 県外 | 計 |
| ものづくり販路支援 コーディネーター | 発注企業 | 125 | 2 | 127 |
| | 受注企業 | 270 | 0 | 270 |
| | 計 | 395 | 2 | 397 |
| 職 員 | 発注企業 | 28 | 0 | 28 |
| | 受注企業 | 59 | 0 | 59 |
| | 計 | 87 | 0 | 87 |
| 合 計 | 発注企業 | 153 | 2 | 155 |
| | 受注企業 | 329 | 0 | 329 |
| | 計 | 482 | 2 | 484 |

② 提案型企業の育成

提案書作成や事業計画立案の支援を通じて提案力のある提案型企业として発注企業とのマッチングに取り組みました。

| 発 注 企 業 名 | 開 催 日 | 参加企業数 |
|-----------|------------|-------|
| 多摩冶金株式会社 | 令和2年11月19日 | 4社 |

③ 下請かけこみ寺事業

下請代金の未払いや取引上の苦情・紛争に対して、連携する(公財)全国中小企業振興機関協会の相談員が駐在して対応しました。また、公正取引委員会と連携した下請法基礎講習会などの普及啓発によりトラブルの未然防止に努めました。

○相談実績

| 業 種 別 | | 内 容 別 | |
|--------|------|-------------|------|
| 製造業 | 44件 | 契約上のトラブル | 8件 |
| 建設業 | 31件 | 法令解釈 | 5件 |
| サービス業等 | 127件 | その他(代金未払い等) | 189件 |
| 計 | 202件 | 計 | 202件 |

※うち弁護士対応 5件

○下請法基礎講習会 (公正取引委員会連携)

| 開 催 日 | 会 場 | 参加者 |
|---------------|---------|-----|
| 令和2年9月24日 (木) | 高崎商工会議所 | 28名 |

○ 価格交渉サポートセミナー（中小企業庁連携）

| 開催日 | 会場 | 参加者 |
|--------------------------------------|---------|--------|
| 令和3年1月20日・23日・29日 2月5日・9日・15日・18日 | オンライン開催 | 1,386名 |

(2) 販路開拓支援事業

商談会の開催や展示会への出展によりものづくり中小企業の販路開拓を支援し、取引拡大を図りました。

① 広域商談会の開催

県内中小企業の取引拡大を図るため、県外発注企業との商談の機会を提供する「関東5県ビジネスマッチング商談会」（茨城、栃木、埼玉、千葉の各支援機関と共催）を開催しました。

| 開催日 | 会場 | 内容 |
|-------------------|------------------|--|
| 令和2年11月2日 ～30日 | ガイドブック 形式にて開催 | 発注企業 80社（うち群馬 3社） 受注企業 193社（うち群馬 43社） 商談件数 801件（うち群馬 159件） |

② 個別商談会の開催

県内外企業からの発注案件にタイムリーに対応し、県内中小企業にマッチングの場を提供しました。

| 区分 | 開催回数 | 発注企業 | 受注企業 | 商談件数 |
|--------|------|------|------|------|
| 個別面談方式 | 98回 | 35社 | 63社 | 63件 |
| 提案型方式 | 1回 | 1社 | 4社 | 4件 |

③ 展示会出展支援

首都圏等で開催される展示会に県内企業の出展ブースを設け、県内中小企業の優れた製品や技術力を広く全国に紹介して販路拡大を支援しました。当機構のブースでは来場者の発注ニーズに対応するとともに、本県の技術力をPRしました。

○ 彩の国ビジネスアリーナ2020

| 開催日 | 会場 | 内容 |
|---------------|---------|------------|
| 令和3年1月8日～2月8日 | オンライン開催 | 県内出展企業 13社 |

○高精度難加工技術展 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

| 開催日 | 会場 | 内容 |
|----------------|----------|------------------------|
| 令和2年10月14日～16日 | 東京ビッグサイト | 県内出展企業 ー 社 商談件数 ー 件 |

④ 県主催展示会出展支援

県が主催する県内ものづくり企業等を中心とする展示会の共催。出展者募集のPRから出展者の提案書のブラッシュアップをはじめ、会期のアテンド、会期後のフォローを行い出展者の販路拡大支援を行いました。

○群馬ものづくりフェア2021 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

| 開催日 | 会場 | 内容 |
|---------------|--------|------------------------|
| 令和3年1月14日～15日 | Gメッセ群馬 | 県内出展企業 ー 社 商談件数 ー 件 |

○GUNM VIRTUL EXPO (群馬県ものづくり企業オンライン展示場)

| 開催日 | 会場 | 内容 |
|--------------|---------|-------------|
| 令和3年2月8日より常設 | オンライン開催 | 県内出展企業 326社 |

3. ものづくり技術・産学連携支援

| | |
|-----|-------------------------|
| 決算額 | 26,029千円 (前年度 45,675千円) |
|-----|-------------------------|

(1) ものづくり人材育成事業

県内ものづくり企業の技術力や競争力の底上げを図るため、次の事業を実施しました。

① 群馬ものづくり改善インストラクタースクール

ものづくり企業における品質向上、納期短縮、コスト低減等現場の改善を指導できる人材を育成するため、講義、演習、現場実習を通じて「ものづくりの流れを作るプロ」を養成する研修を計画しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

② 群馬ものづくり現場新人研修

中小製造業の新人社員を対象に、ものづくりの現場で必要とする知識を体系的に習得させ、現場への適応をサポートする研修を計画しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止、資料配布のみ行いました。

| 開催日 | 会場 | 申込者 |
|---------------|------------|---------|
| 令和2年4月9日～10日 | 前橋産業技術専門学校 | 11名(4社) |
| 令和2年4月13日～14日 | 高崎産業技術専門学校 | 13名(6社) |
| 令和2年4月16日～17日 | 太田産業技術専門学校 | 15名(6社) |

③ スマートものづくりコーディネーター事業

スマートものづくりコーディネーター2名を配置し、IoT等実態把握のための企業訪問や導入等のアドバイスを行い、県内中小企業へIoT・AI等の普及促進を図りました。

- I. コーディネーター 2名
- II. 支援企業数 165社
- III. セミナー 2回

| セミナー名 | 開催日 | 会場 | 参加者 |
|------------|------------|---------|-----|
| IOT・AIセミナー | 令和2年7月28日 | オンライン開催 | 12名 |
| IOT・AIセミナー | 令和2年10月14日 | オンライン開催 | 73名 |

IV. 先進地視察（オンライン開催）

- 開催日 令和3年3月5日
- 視察先 鈴木工業株式会社（太田市西新町135-8）
- 参加者 19名

V. 人材育成事業

| セミナー名 | 開催日 | 会場 | 参加者 |
|-------------|--------------------|-----------------|-----|
| IOT活用人材育成講座 | 令和3年1月13日 2月24日 | 群馬産業技術センター第1研修室 | 19名 |

(2) 次世代産業参入支援事業

航空宇宙関連産業、医療・ヘルスケア産業等次世代産業分野に係る中小企業等の新事業活動を支援しました。

① 航空宇宙産業参入支援事業

県と連携して、航空宇宙産業への進出を目指している県内中小企業等に対し、専門的知識を有する専門家を活用し新規参入及び販路拡大をサポートしました。

I. 専門家派遣

航空宇宙関連部品加工の技術や国際品質規格の認証、大手航空機メーカー等への販路開拓において、専門家の派遣による支援を行いました。

| 内 容 | 企業数 | 回 数 |
|---------|-----|-----|
| 技 術 指 導 | 0 社 | 0 回 |
| 認 証 指 導 | 0 社 | 0 回 |
| 販 路 指 導 | 1 社 | 3 回 |
| 合 計 | 1 社 | 3 回 |

II. 海外展示商談会

世界のMRO工場として海外の航空機メーカーの拠点が集積されるマレーシアで開催されるエアロスペース&MROビジネスコンベンションにて航空機産業専門の国際的な商談会に県内企業と共同参加を予定しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

| 開 催 日 | 開催場所 | 参加企業 | 商談件数 |
|--------------------|----------------------------------|------|------|
| 令和2年11月17日 ～19日 | マレーシア インターナショナル トレード&エキシビジョンセンター | － 社 | － 件 |

III. 国内展示商談会

国内で開催される航空機産業に特化した専門的商談会である「エンジンフォーラム神戸2020」と「フライングカーテクノロジー」に県内企業と共同参加しました。第3回航空宇宙機器開発展については、新型コロナウイルス感染拡大による首都圏緊急事態宣言の発出により、基礎装飾および出展企業ガイドのみ配置し、現地での人員配置は中止しました。

○エンジンフォーラム神戸2020

| 開 催 日 | 開催場所 | 参加企業 | 商談件数 |
|--------------------|--------------|------|-------|
| 令和2年10月20日 ～21日 | 神戸国際展示場 3 号館 | 3 社 | 5 7 件 |

○フライングカーテクノロジー

| 開 催 日 | 開催場所 | 参加企業 | 商談件数 |
|------------------|---------------|------|---------|
| 令和2年11月4日 ～6日 | 東京ビッグサイト南4ホール | 3 社 | 1 4 7 件 |

○第3回航空宇宙機器開発展

| 開 催 日 | 開催場所 | 参加企業 | 商談件数 |
|-----------------|-----------|------|------|
| 令和3年2月3日 ～5日 | 幕張メッセ6ホール | 4 社 | － 件 |

IV. 研修・セミナー開催

航空宇宙産業における国際認証制度や国際品質規格の基礎知識習得などを目的として研修・セミナーを開催しました。

| セミナー・研修名 | 開催日 | 開催場所 | 参加者 |
|--------------------|-------------------|----------------|-----|
| JISQ9100 内部監査員養成研修 | 令和3年2月17日 ～18日 | 群馬県公社総合ビル第5会議室 | 8名 |
| 航空宇宙産業参入セミナー | 令和3年2月19日 | オンライン開催 | 34名 |

② サプライヤー応援隊事業

自動車の運転技術の高度化やパワートレインの電動化等(CASE)の潮流を受け、地域の中小サプライヤーに派遣する人材を育成し、支援対象企業の技術的向上に向けた支援を行いました。

I. 指導育成

車載ソフト技術分野での基礎技術の修得と新規参入を目指す県内中小企業等の技術担当者を対象とする人材育成講座を開催しました。

| セミナー名 | 開催日 | 開催場所 | 参加者 |
|---------------|--------------------|-----------------|-----|
| MBDトレーニング基礎講座 | 令和3年1月18、19、25、26日 | 群馬産業技術センター第1研修室 | 17名 |
| 最新動向セミナー | 令和2年12月8日 14日 | オンライン開催 | 57名 |

II. 現場派遣

新規参入への課題抽出や基礎技術の習得、ネットワーク形成等のアドバイスを目的に、指導者の派遣を行いました。

| 内容 | 企業数 | 回数 |
|------|-----|----|
| 新規参入 | 2社 | 4回 |
| 事業拡大 | 0社 | 0回 |
| 合計 | 2社 | 4回 |

③ 医療機器開発支援ネットワーク事業

医療機器の開発・事業化について、関係機関が連携し、開発初期段階から事業化に至るまで切れ目なくサポートしました。

(3) 国・県の競争的資金獲得等の支援

① 競争的資金の獲得支援

国や県の助成金を利用して高度な技術開発や事業革新等を目指す中小企業に対して、採択されるよう事業計画づくりの段階から支援しました。

| 補助金名等 | 支援 件数 | うち採択 件数 |
|-----------------------------------|----------|------------|
| (国)戦略的基盤技術高度化支援(サポイン)事業 | 3 | 1 |
| (国)ものづくり・商業・サービス生産性向上補助金 | 20 | 11 |
| (国)小規模事業者持続化補助金 | 47 | 43 |
| (国)サービス等生産性向上IT導入補助金 | 1 | 0 |
| (国)商業・サービス競争力強化連携支援事業(新連携支援事業)補助金 | 1 | 1 |
| (県市)県市町村パートナー補助金 | 2 | 2 |
| (市村清新技術財団)新技術開発助成 | 1 | 1 |
| 計 | 76 | 59 |

② 戦略的基盤技術高度化支援(サポイン)事業

平成30年度及び令和2年度に採択され、経済産業省(関東経済産業局)から交付決定を受けた3件について、管理者として地域の共同体による研究開発を促進しました。(最長3年間の補助制度)

| 研究開発テーマ | 主たる研究機関 | 受託額(円) |
|---|---------|------------|
| 新しい脳外科内視鏡手術のための精密鉗子の開発(3年目) | 共和産業(株) | 15,586,666 |
| 異形状多部品成形技術の高度化及び、自動型内ゲートカット技術との統合により、生産効率を向上したプラスチック射出成形用金型の開発(2年目) | 東邦工業(株) | 31,402,054 |
| 鉄道向けインフラ用厚板金属製品の革新的生産プロセスの開発(1年目) | (株)北斗 | 35,000,000 |
| 3件 | | 81,988,720 |

4. 設備導入資金債権管理

| | |
|-----|-------------------------|
| 決算額 | 1,256 千円 (前年度 1,263 千円) |
|-----|-------------------------|

設備資金貸付事業の正常債権の管理を行うとともに、設備貸与事業及び県単リース事業の延滞債権の回収・整理を進めました。

5. 理事会・評議員会の開催状況

(1) 理事会の開催状況

| 回数 | 開催日 | 開催場所等 | 議案番号 | 件名 | 備考 |
|--------|--------------------|------------|----------------------------------|--|----------------------------|
| 第 35 回 | 令和 2 年 4 月 9 日 | みなし決議 | 第 1 号 | 評議員会招集の決定について | 理事総数 9 名 同意理事 9 名 |
| 第 36 回 | 令和 2 年 6 月 4 日 | みなし決議 | 第 1 号 第 2 号 | 平成 31 年度事業報告及び決算について 定時評議員会の開催について | 理事総数 9 名 同意理事 9 名 |
| 第 37 回 | 令和 2 年 6 月 25 日 | みなし決議 | 第 1 号 第 2 号 | 理事長、副理事長及び専務理事の選定について 理事長及び専務理事の報酬額等について | 理事総数 9 名 同意理事 9 名 |
| 第 38 回 | 令和 3 年 3 月 26 日 | 群馬産業技術センター | 第 1 号 第 2 号 第 3 号 第 4 号 | 令和 2 年度収支予算の変更について 令和 3 年度事業計画及び収支予算について 事務局規程の一部改正について 評議員会招集の決定について | 理事総数 9 名 出席理事 9 名 |

(2) 評議員会の開催状況

| 回数 | 開催日 | 開催場所等 | 議案番号 | 件名 | 備考 |
|--------|--------------------|------------|-------------------------|---|------------------------------|
| 第 22 回 | 令和 2 年 4 月 16 日 | みなし決議 | 第 1 号 | 役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程の一部改正について | 評議員総数 9 名 同意評議員 9 名 |
| 第 23 回 | 令和 2 年 6 月 25 日 | 群馬産業技術センター | 第 1 号 第 2 号 第 3 号 | 平成 31 年度決算について 理事及び監事の選任について 評議員の選任について | 評議員総数 9 名 出席評議員 7 名 |